

DEI トナ不動産 NEWS02 AREA053 ついに入居開始！
3スパンの広々タイプも初公開！！



十分なスペースのガレージ空間を持つ3スパン間口タイプのGLB（ガレージ・リビング・ベッド）。シャッターを閉めた時らせん階段の上方から差し込む光で程よい陰影を楽しむことができる。玄関ドアまわりも当然広い。シェア賃貸で気の合ったグループの工房やスタジオとしても利用価値大です。

AREA053が遂に9月末堂々完成。すでに入居契約が始まっています。3棟合計25世帯。クルマ好き、バイク好きの入居が完了したときに初めて構築される、新しいコミュニティの完成が今から楽しみなものです。AREA053には2世帯分ですが、通常より広い間口*3スパンのタイプが設定されています。ガレージは2スパン×4スパン＝8坪、26㎡がまるまるガレージ空間です



から、大型車とバイク3台は優に格納可能です。らせん階段もうれしい設定。その隣にはスペアタイヤやオイル類も格納可能なストレージ付きです。スタンダードの部屋が間口2スパンのところ、こちらは間口3スパンですから1.5倍のスペース取りになっています。これで家賃の差は約1万円。お得というほかありません。もちろん2F空間も充実しています。階段が独立型のらせん階段ですから室内空間は26㎡まるまる使えた上に、水まわりと階段で13㎡。さらにロフト空間も設定しています。今後、GLBの建築をご検討される方は、間口2スパンだけではなく3スパンのタイプも視野に入れていただくことをお勧めします。十分家族でも住める広さなのです。



9世帯のガレージがすばりりと並んだ外観。シャッターにはステンシルのナンバリングが施される予定で、さながらサンダーバード2号の出撃基地の様相。側面のR形状とグラフィックも格納庫/HANGERをイメージさせてくれるもの。まさに出撃気分が味わえるアパートなのです。



AREA 053 www.daytona-house.com/area053
area053.site [DAYTONA HOUSE HOKKAIDO]



DEI トナ不動産 NEWS04 ファンの集いと個別物件説明会が開催されました in福岡

クルマ好き、バイク好きの多い地域として知られる福岡市で、去る9月11日デイトナハウスファンミーティングが開催されました。（主催：デイトナハウス福岡）それぞれ自宅やアパートの計画をされているお施主さんの集まりです。個別相談会の後の懇親会ではボルテージは急上昇。お客様同士が互いの計画するデイトナハウスのことやクルマ、バイクの話で大いに盛り上がりました。互いにSNSのアドレス交換なども行われ最後は和やかに記念撮影。建築計画の疑問点や不安をその場で解決すると同時に、ムーブメントのエネルギーを実感することができる有意義な場。今後も企画していきます。

DEI トナ不動産 NEWS03 来春の北海道ツーリングが楽しくなりそう!? デイトナハウスが『レンタル819』とコラボ!

静かなブームになり始めているレンタルバイクでのツーリング。そのリーディングカンパニーである『レンタル819』と『デイトナハウス』が来春に向けてのコラボレーション企画を始動！たとえば苫小牧AREA053を出撃基地として道南をめぐるバイクの旅。ニセコ、羊蹄山、洞爺湖、登別温泉、函館など。身体一つで千歳空港に到着すれば、送迎バス30分でAREA053へ。電動シャッターを開ければ、そこに旅のお供であるバイクたちが待っている。その日はAREA053で英気を養い、翌日早朝出撃するという算段なのです。

企画しているモーターホテルを、独自の観点でツーリングルート上で建設していく予定も。まさに、新しいモーターライフの幕開けとも呼べる、企画を検討中です。乞うご期待。



他にもデイトナハウスが

恐竜の背骨のような力強い凹凸感と暮らす喜び
らせん階段は一体空間を大切にす
るモダンな建物においては、とても
貴重なもの。廊下を設定する必要が
ないので省スペースにも寄与し、そ
して何よりも、現代の大黒柱とも言
えるその存在感が、空間のメリハリ
を演出してくれます。そのため、設計
過程ではつい「らせん階段を提案
するのですが、問題はその価格。とい
うのも、らせん階段を製作する鉄骨



ついにデイトナオリジナルで登場
日本初の分解式
スチールらせん階段

今月のデイトナ不動産では、現在開発中の新機軸のらせん階段のご紹介からスタート。他にも色々プロジェクトが進行中です。

屋さんが年々減少しているからです。需要が高まっているのに生産側が減少する。必然的に値段は、いい値になっていくのです。実に悩ましい問題でありました。特に手すりの3次元曲線の製作と溶接のむずかしさが価格アップに拍車をかけていました。とはいえ、デイトナハウスは、らせん階段をあきらめるわけにはいきません。無いものなら作ってしまう、それがデイトナスピリット。価格の高騰の原因になっている部分を抽出し、その解決法として分解式のらせん階段

SPIRAL STAIRSCASE Digestion System Made of Steel

建設中のガレージ空間に屹立するプロトタイプのらせん階段。LGSパネルとの相性はもちろん完璧です。ガレージ内の受するクルマやバイクとも共鳴すること間違い無し！床の素材による階高の変化にも均等割り付けで対応できるので、設計事務所や現場監督さんにも優しい階段なのです。

を開発しました。パーツが小さいのでこの階段製作には広い作業スペースは必要としません。良いことづくめのうえに、独特の力感がなんともカッコいい。まさに、武骨です。塗装もその意味ではこの商品のイメージに直結していて、ご存知艶消し黒のパウダーコーティングです。ペンキ塗りだとしても艶が出て、この恐竜の背骨感が出ません。手すりはステップごとに門型に設置した丸パイプですが、革バンドで相互に繋結する予定。皮と鉄。これまた新たな取り合わせです。
どうですか？ 欲しくなりませんか？ 気になる価格は、キット価格でワンフロア155万円を予定しています。

Text/Atsushi TAMADA Photo/Yumi SATO(city digi)

